

不祥事防止に向けて

水戸市立常澄中学校

学校教育は、生徒、保護者及び地域の皆様の信用と信頼で成り立つものであり、教職員による不祥事は、その信用と信頼を失うことにつながることから、あってはならないものです。そこで、本校では不祥事防止とコンプライアンスの確立及び生徒、保護者、地域の信用・信頼を高めるための教職員の意識改革と方策について、次のように取り組んでおります。

1 研修の充実

不祥事防止とコンプライアンス意識の向上をねらいとして、ボトムアップ型とトップダウン型を組み合わせて研修を実施しています。不祥事は、わいせつ、飲酒運転、体罰、学校徴収金の不適切な処理など多岐にわたります。そこで、それぞれをテーマとして月1回以上の研修を計画し、実施しています。また、研修では、不祥事関連の通知文や実際の事例等を利用し、教職員が自分自身や自校で発生するリスクを想定して話し合うなど、自分事として捉えるようにしています。

2 定期的な点検と確認

不祥事防止のためのチェックリストを活用し、教職員自身が定期的に点検し、不祥事がなぜ起きてしまうのか、自分の行動や意識に問題はないかなどを確認しています。

3 教職員への指導や支援

管理職と教職員との個人面談を実施して、悩みなどの解決に向けての支援を行っています。教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の要因となることも考慮し、管理職が教員評価に係る面談等を通して、解決法について助言したり、一緒に考えたりするなど、コミュニケーションをしっかりとって支援しています。

4 本校の不祥事防止策

わいせつ	・ 校舎内に死角ができないように整理整頓をする。 ・ 生徒と1対1にならないことを徹底する。
飲酒運転	・ 宴会時の交通手段、飲酒の有無の申告、確認する。
窃盗	・ 机上等の物品整理、貴重品は施錠できる場所に収納する。
体罰	・ 複数人での指導を徹底する。
徴収金の不適切処理	・ 現金取り扱いゼロ、複数名での管理監査を徹底する。

常澄中学校の教職員一人一人が高いコンプライアンス意識をもち、全教職員一丸となって不祥事の防止に取り組んでまいります。